

消費生活センター情報特急便

NO.164

◆新型コロナウイルス給付金◆ 通帳やマイナンバーなどは 絶対に教えない!渡さない!



<<給付金の手続きは郵送をおすすめします>>

○各家庭に郵送された「特別定額給付金申請書」に署名または記名押印をして、申請者本人確認書類（健康保険証など）と振込先金融機関口座の確認書類（通帳またはキャッシュカード）の写しをつけて付属の返信用封筒で郵送してください。

○コピーをどこですれば良いかなど不安なことがあれば、信頼できる人に相談しましょう。

<<「手続きを代行に行います」は嘘です>>

○「このお電話で10万円の手続きができます」という電話はウソです！
区役所ではこのような電話はしません。

○「マイナンバーカードを取得すれば補助金がすぐ払われますから、
手続きを代行します」という電話もウソです。マイナンバーカードを
これから取得してオンライン申請するより、郵送での申請をおすすめします。



<<対応のポイント>>

○行政から委託されたという業者などからの怪しい電話や訪問、心当たりのない送信元からの怪しいメール・SNSなど、怪しい・おかしいと思うものには反応しないようにしましょう。

○少しでもおかしいと感じた場合は、早めに消費生活センターに相談しましょう。

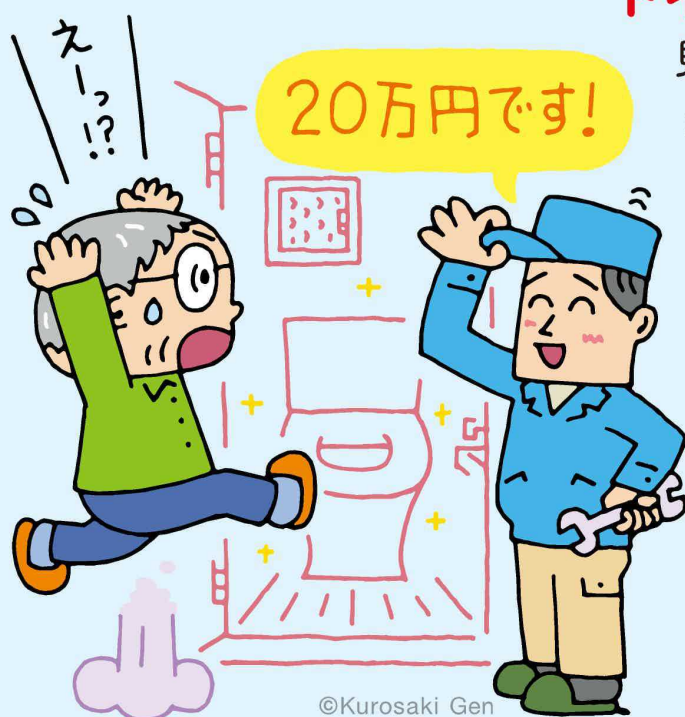
※ 事業者の方は、保有している顧客の個人情報の取扱いに十分ご注意ください。

裏面にて、(独)国民生活センターの「見守り新鮮情報」をお届けします。

中野区消費生活センター 中野区中野4-8-1 (区役所1階24番窓口)
 相談受付電話 03(3389)1191 FAX 03(3389)1199
 相談受付時間 月～金曜日 9時30分～16時 (土日・祝日・年末年始は休み)
 eメールアドレス shohiseikatuserita@city.tokyo-nakano.lg.jp

見守り 新鮮情報

慌てないで！ トイレ修理で 思わぬ高額請求



©Kurosaki Gen

トイレが詰まり、電話帳で見つけた業者に電話をして来てもらった。急いでいたので料金等は電話で確認しなかった。修理をしてもらったが、結局新しい便器に交換することになり、作業が終わった時点で「20万円」と言われた。すでに作業も終わっていたので仕方なく支払ったが、高額だと思う。(70歳代 男性)

ひとこと助言

日ごろから備えよう



見守るくん

- 慌てて事業者を呼んでしまいがちですが、複数社から見積もりを取って、作業内容や料金をよく確認しましょう。事前に出張や見積もりに掛かる料金の有無を確認することも大切です。
- 現場の状況次第では、更に修理が必要な場合もあります。作業前に作業内容や料金等を確認し、納得できない場合はその場で契約しないようにしましょう。
- 急を要するトラブルに備え、安心して依頼できる事業者の情報を日ごろから集めておきましょう。水漏れの場合は、自宅の止水栓の位置と締め方を確認しておくとい良いでしょう。
- 困ったときは、お住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください（消費者ホットライン 188）。